

編集後記

大変遅れておりましたが、第31巻(第1号)を発刊することが出来ました。今回は原稿が少なく、3編の論文が掲載されています。投稿原稿のすべてが採択された訳でなく、執筆者には誠に申し訳ありませんが、残念ながら掲載に至らなかった論文もありました。先の編集委員会で細部にわたって、内容、形式などを徹底的に評価し、執筆者に訂正などを求め、委員の合意の下で質の高い総説、解説論文のみを採択とした結果でした。これは、特集号の最新の医学医療の総説、解説原稿が掲載されている商業医学雑誌と大きく異なるところです。総説ではB型、C型肝炎はウイルスを消失できる時代になり、最近の肝硬変、肝細胞がんの重要な基礎疾患であるNAFLD/NASHについて最近の知見であり、解説では最近の目覚ましい脳卒中の血管内治療の豊富な経験をお持ちの第一人者による圧巻の論文と、現在多死社会に突入し、どのように最後を迎えるかが大きな社会的テーマとなっている看取りをテーマに取り上げて頂いた。ACPの用語が医療の現場で医師を含めた医療スタッフ間でテーマとなってきているが、日本人の6割のみがACPについて家族間で議論したに過ぎない状況で、医療用語のみが独り歩きしかねないことを査読後の感想として持ちました。医療現場での混乱を避けるためには、欧米なみに学校教育の場で、学習指導要領と離れた学びと議論が必要であると思えてなりません。

最後に、今回の掲載論文のような重要なテーマの各種論文の投稿をお願いし、編集委員が査読に追いかけられ、嬉しい悲鳴を上げるような状況が来ることを切望しています。

[2019年6月 松本 美富士]

編集委員 (50音順 *印委員長)

池山 淳*	粥川 裕平	杉藤 徹志	高橋 英世
野村 博彦	平井 長年	松本 美富士	三浦 義孝

明日の臨床

Vol. 31 No. 1

2019年6月25日発行

編集 明日の臨床編集委員会

発行所 愛知県保険医協会

〒466-8655 名古屋市昭和区妙見町19-2

☎(052) 832-1345

制作 (株)東海共同印刷

頒価 1,000円・発行部数 7,000部